



K u m a m o t o



u r b a n

⑥ 今後の取り組み



t r a n s p o r t



m a s t e r p l a n

交通マスタープランの実現に向けて、都市圏住民と連携のもと、実行計画を策定し、計画的に進めることが必要です。

アクションプランの策定

都市交通マスタープランは、都市圏交通における現状・課題及び将来見通しなどを踏まえた上で、将来の都市像や交通体系のあり方と具体的な施策を提示することにより、都市圏交通ネットワークの望ましい姿(ビジョン)を明らかにするものです。

ビジョンを実現するためには、マスタープランで提示された施策の具体的な取り組み方を示す実行計画(アクションプラン)を策定し、戦略的に施策を推進することが重要です。

実行計画は、交通ネットワークの段階的な整備過程における当面(5～10年間)の目標像を設定し、それに必要な施策を総合的に整理するとともに、事業主体や整備スケジュールを明確にすることが重要です。また、実行計画は、その公表を通じ、地域住民に交通ネットワークの形成過程や事業に対する理解を得るためにも重要です。

この実行計画に基づき、施策の進捗管理や3～5年ごとの事業効果の検証をもとに必要な見直しを行いながら、着実、かつ、継続的な施策の実施により、目指すべき将来像に向けて事業成果を上げていくことが重要です。

〈将来ビジョン〉

都市交通マスタープラン

- 概ね20年後の熊本都市圏の将来ビジョンとして、将来の「都市像」や「交通ネットワーク」のあり方や施策体系を示す。

〈アクションプラン〉

交通ネットワークの整備に関する実行計画

- 交通ネットワークの整備に関する実行計画。
- 計画期間5～10年で、具体的な「対象地域」、「主要施策」、「事業主体」、「整備スケジュール」などを示す。
- 該当する計画としては、「地域公共交通網形成計画」、「公共交通再編実施計画」、「都市・地域総合交通戦略」、「道路整備プログラム」、「都市計画道路の見直し」などがある。

進捗管理・効果検証

- 実行計画(アクションプラン)の進捗管理を行うもの。
- 3～5年ごとに事業の進捗管理と事業効果の検証を行い、次期実行計画へ反映。